

平成30年度 上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

会議	部会名	第1回 就業支援 部会	参加者数	41人	会場	伊那市 福祉まちづくりセンター 2階 大会議室
	日時	平成30年5月9日(水) 15:30 ~ 17:15				
主テーマ	<p>1 自己紹介</p> <p>2 就労アセスメント(B型アセス)圏域ルールの見直しについて</p> <p>3 その他</p>					
主な意見など	<p>1 について(参加者全員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度最初の部会ということで、まずはお互いを知り、支援ネットワークを広げ、深めることを目的に、全員が自己紹介を行った。(所属・氏名・業務内容・所属機関のPRなど)</li> <li>行政、一般企業、就労系事業所、医療機関、学校、保護者など、多様な立場の参加者が、それぞれの視点から就業支援に興味を持って参加しており、立場の違いを超えてお互いを理解するよききっかけとなった。</li> </ul> <p>2 について</p> <p>(1) これまでの経過と課題提起(きらりあ 北嶋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規学卒者等が、就労継続支援B型事業所を利用する場合には、就労アセスメントが必要とされている。</li> <li>上伊那圏域では、圏域独自の就労アセスメントの共通ルールを作り、これまで運用してきた。</li> <li>平成29年度に国から通達が出され、特別支援学校高等部等の在学中に、一般企業または就労移行支援事業所における実習が行われ、実習におけるアセスメント結果が本人及び支援者等に提供された場合、就労アセスメントを実施したものとみなすことができるようになった。(いわゆる「みなしアセスメント」)</li> <li>そこで、伊那養護学校で実習を行った結果を関係機関等に提供することで、就労アセスメントを受けたとみなすことができるように圏域ルールを見直したいと考えるが、いかがか。</li> </ul> <p>(2) 就労アセスメントについて(長野県 健康福祉部 障がい支援課 吉澤主事より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○就労アセスメントとは何か、また今回の変更点等のポイントについて、概要説明があった。</li> <li>○変更点等のポイント <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 就労アセスメントを実施できる機関の増加(長野県内ではほとんど該当する機関はない)</li> <li>イ 就労アセスメントの実施場所、実施方法の追加(学校の授業中にアセスメントを行える可能性が出てきた)</li> <li>ウ 「就労アセスメントとみなすことができる実習」を認めること (ただし、その可否判断を行うのは、市町村であり、市町村との十分な合意形成が必要となる)</li> <li>エ 特別支援学校生におけるアセスメント実施時期の留意事項(1,2年生での実施も可能と明記された)</li> </ul> </li> </ul> <p>(3) 意見交換(参加者全員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○主に次の観点から、意見交換が行われた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域ルールの改正、圏域内で足並みをそろえること、市町村の理解を得ることについて</li> <li>・就労アセスメント結果と実際の就職先や事業所での様子との整合性について</li> <li>・他圏域の就労アセスメントの状況について</li> </ul> </li> </ul> <p>(4) 今後の方向性について(きらりあ 北嶋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30.5.14開催の運営委員会に、部会として、「圏域ルールを見直し、みなしアセスメントが可能となる方向で考えたいが、いかがか」と課題提起し、H30.5.22の全体会にも諮っていく方向</li> </ul> <p>3 について</p> <p>(1) 精神障害者職場定着支援事業(SST)への取り組みについて(きらりあ 守屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きらりあでは、今年度、標記事業の一環として、「SST等を活用したグループワークによる精神障害者等への先進的な職場定着支援」を行うこととなった。具体的には年6回、在職者を対象に希望する者に対して、SSTを実施する予定である。見学も可能。興味のある方々への周知をお願いします。</li> </ul> <p>(2) 昨年度の就業支援部会アンケート結果について(きらりあ 北嶋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な意見として、①企業での1日の仕事内容と障がい者雇用に対する工夫を知りたい、②他圏域の就労状況を知る機会がほしい、③就労移行支援の具体的内容を知りたい、④各支援機関の役割について、⑤事業所から一般就労までの流れを知りたい、が挙げられた。あと4回の部会の中で、事例検討も含めながら、これらの課題を扱っていけるよう、部会内容を企画・調整していきたい。</li> </ul> <p>(3) 長野県障害者職業センターより</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー活用のお願いとチラシ配布があった。</li> </ul>					
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介を通して、お互いを知り、支援ネットワークを広げ、深める一助とすることができた。</li> <li>・就労アセスメントの圏域ルール見直しについて検討し、運営委員会へ課題提起していくことを確認できた。</li> </ul>					
次回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詳細については、決まり次第、お伝えする。</li> </ul>					